

「世界をつなぐふれあいフェスタ」をテーマに楽しんだ晴天の1日

第6回ふれあい祭りが開かれました

第6回ふれあい祭り実行委員長 今井洋子

習志野市国際交流協会では毎年、会員、市民および在住外国人に多文化を発信する場と機会を設け、相互交流と理解を深めるとともに、当協会の活動の周知と推進を図ることを目的にふれあい祭りを開催しています。

崎山会長から「今年のふれあい祭りは、谷津干潟の外周をウォークラリーして皆でいい汗をかこうよ」と発言があり、第6回のふれあい祭りの実行委員会が平成25年8月に立ち上がりました。実行委員会は各部会代表者に高村久夫、布施国男、大久保龍樹、島田義夫の各界実力者理事を加えた力強い布陣となり、今までにない大規模なお祭りの企画が始まりました。

今回のふれあい祭りの主催は習志野市国際交流協会、後援に習志野市と習志野市教育委員会、協賛は習志野ロータリークラブ、習志野中央ロータリークラブ、習志野ライオンズクラブ、習志野中央ライオンズクラブ、習志野青年会議所、習志野市企業局、そして習志野メロディ基金サポートクラブと習志野市PTA連絡協議会に協力をいただきました。また、宮本市長と斎藤市議会議長は当日ふれあい祭りにおいていただきました。

10月27日(日)は素晴らしい晴天に恵まれました。台風26、27、28号の進路は予想を大きく外れて海上へと抜けていたのです。イベントに必要な条件は天気と元気と活気です。また同日開催イベントとして「アオサについて考える集い」と「習志野市内小学生絵画展」が開催されました。

催物はウォークラリー、音楽イベント、軽食販売です。

ウォークラリーは谷津干潟自然観察センターの外周3.5kmのコースです。参加者には、



タスカルーサからのボールペン贈呈式 撮影：小島 明

N
I
ユ
ニ
ス
作
成
の
缶
バ
ッ
ジ



NI-Youth オリジナルの缶バッジを、(写真を見てください、とても素敵にできているでしょ?) また3か所のスタンプポイントでクイズに挑戦した正解者に対しては、タスカルーサ姉妹都市委員会のリサ・キーズ専務理事から贈呈されたボールペンを差し上げました。それに先立ち、ボールペンの贈呈式が行われました。タスカルーサ側はリサ・キーズ専務理事の代理で、ALTとして習志野市に派遣されているジェシカさんとエイドリアンさんから、習志野側は谷津干潟ジュニアレンジャーの高橋拓真(たかはしたくま)君(袖ヶ浦西小5年生)と吉田明継(よしだあきつぐ)君(秋津小4年生)に、実行委員長の代理でボールペンを受け取っていただきました。タイムトライアルのウォークラリーではないのですが、皆さんに楽しく参加していただけました。また、参加した方全員に習志野市企業局から

(次ページに続く)

の水のボトルが配られました。

音楽イベントは高村理事に担当していただきましたが、楽しくかつ素晴らしいステージをプランニングして下さいました。



フォルクローレ演奏のナスカのみなさん

総合司会と歌は元劇団四季の横洲かおるさんで、綺麗なソプラノと楽しい司会でした。地元習志野で誕生したラテンアメリカの民族音楽バンド「ナスカ」によるフォルクローレ演奏や、口笛奏者の大場エベレット君による口笛&アンサンブルの演奏が続きました。彼は2年間連続で世界口笛選手権大会子供部門の世界チャンピオンの資格を保持しています。千葉県立津田沼高校生のダブルダッチ(なわとび演技)も世界大会で上位入賞をしているチームで、彼等は演技だけでなく会場の人にも参加を呼びかけ、会場を盛り上げました。沖縄音楽の三線の宮里英克さんと琉球



”ダブルダッチ”には観衆も参加

國祭り太鼓のみなさんは大勢の踊手でエイサーを披露し、さらに観衆も仲間に引き入れて一緒に踊り、第6回ふれあい祭りのフィナ

ーレを飾って下さいました。

「食」については、新そば、元留学生が作ったベトナムの家庭料理、元力士、琴剣のチャンコ、餅つきをしてくださったあきつ園などの模擬店が出され、いずれも好評でした。布施理事は中央ロータリークラブの皆さんと、大きな美味しい餃子を焼いてもてなして下さいました。



ウォークラリーのクイズポイントで 撮影：小島 明

このような多彩な企画で、今回のふれあい祭りは多くの方に楽しんでいただけたかと思えます。

次回は外国からの参加者を増やせるように周知の方法をもう少し考え、ステージでの出演者にも外国の方に入って貰えるようにしたいです。それでも、今回のふれあい祭りの参加者なんと550名でした！！

最後に関係諸団体及び実行委員会関係者、事務局員の皆様のご協力に心からお礼を申し上げます。



模擬店では賑やかにもちつきも